

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

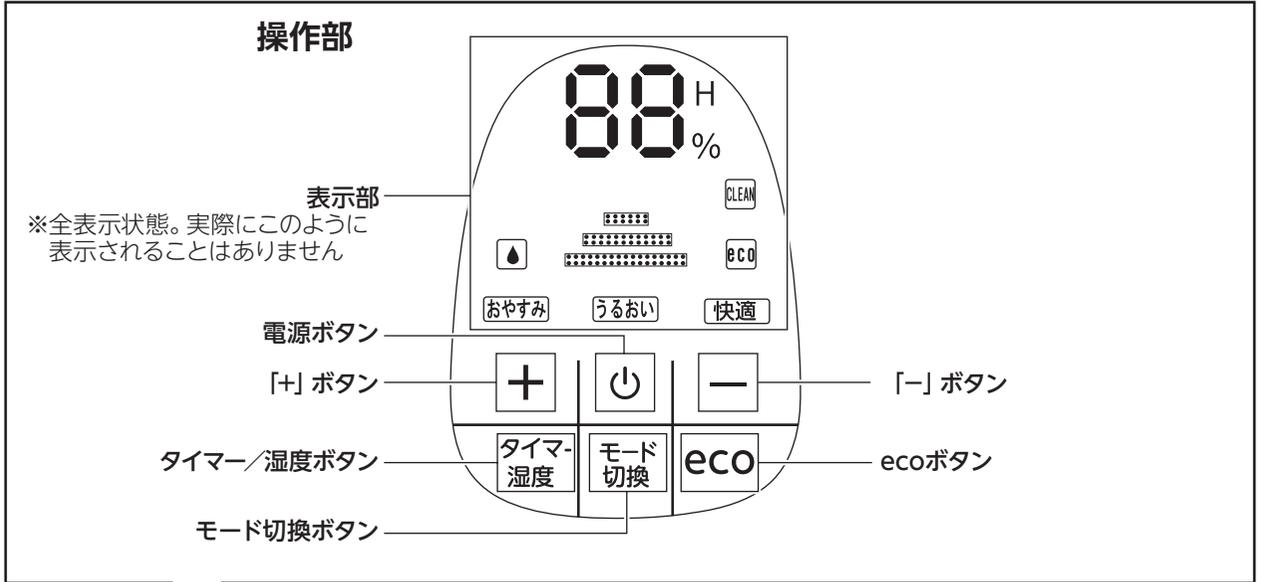
 禁止	交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 指示	電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。	 プラグを抜く	使用後は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。 火災や故障の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。 けが・やけど・感電の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドゥンジャお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。
 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。		

注意

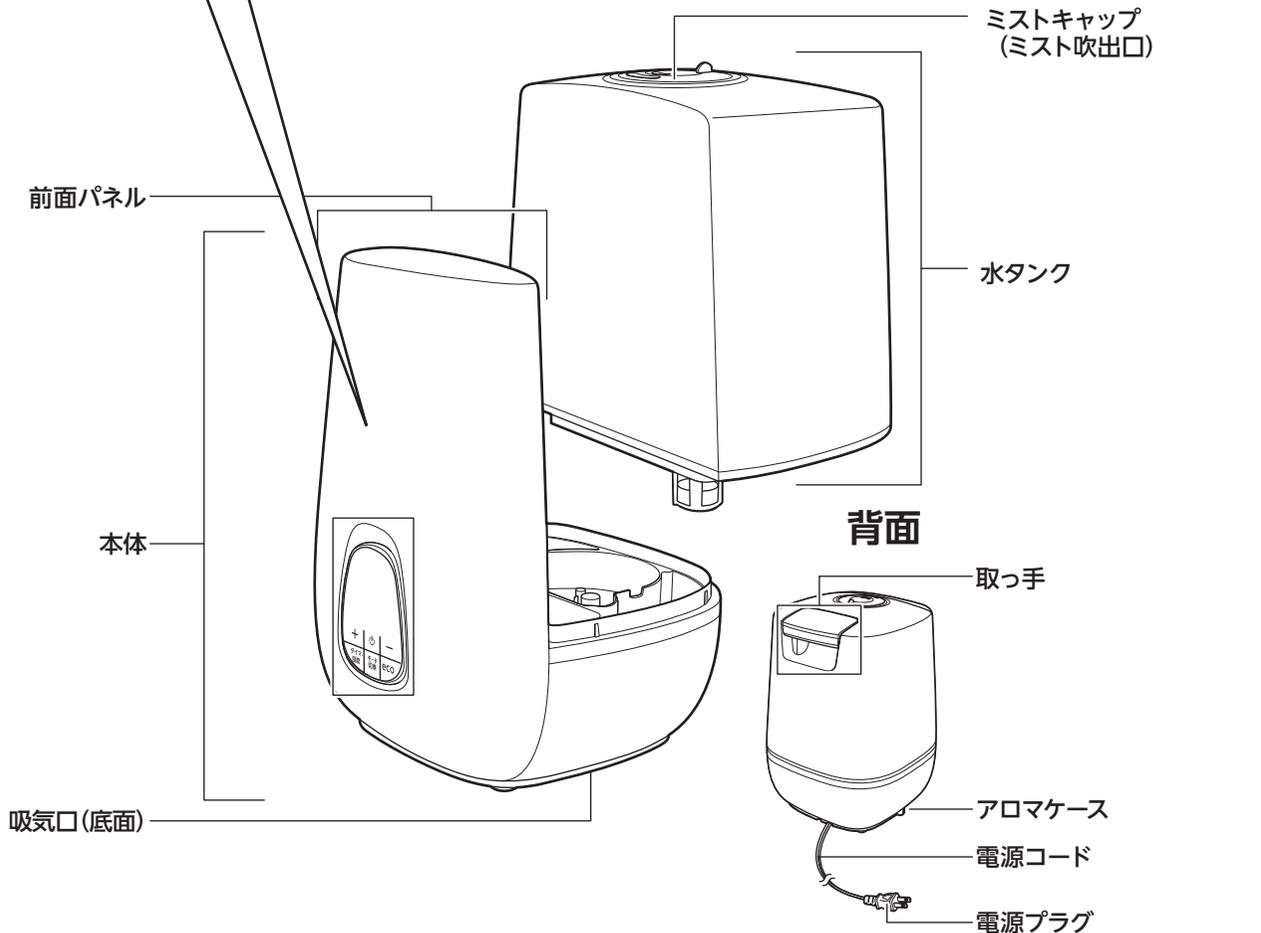
 <p>禁止</p>	<p>湿度の高いところ(85%以上)では使用しない。 室内を濡らしたり、故障の原因となります。</p>	 <p>指示</p>	<p>電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になることがあります。</p>
	<p>ミストが直接、家具・壁・カーテン・天井などにあたるところで使用しない。 家具・壁に染みがついたり、変形の原因になります。 本体を壁、家具、カーテン、寝具などから50cm以上離してご使用ください。</p>		<p>本製品を使用しないときは、水を捨てる。 使用しない水をそのままにしておくと、カビや雑菌が繁殖し異臭の原因になります。 使用しないときは、水タンクと水槽の水を捨ててください。</p>
	<p>犬やネコなどのペットのためには使用しない。 ペットが本体や電源コードなどを傷め、火災の原因になることがあります。</p>		<p>水タンクおよび水槽の水は毎日新しい水道水と入れ替える。本体内部は常に清潔を保つよう定期的にお手入れする。 お手入れせずにお使いになると、汚れや水アカにより、カビや雑菌が繁殖し、異臭の原因になります。まれに体質によっては、過敏に反応し健康を害することがあります。この場合は、医師に相談してください。</p>
	<p>傾いた場所や棚などの高い場所・不安定な場所には置かない。 転倒すると本体の破損、やけど・けがの恐れがあります。</p>		<p>本製品の近くに携帯電話やパソコンなどを置かない。 加湿器の運転中は、加湿器周囲の湿度が高くなりますので、湿気に弱い携帯電話やパソコンなどの電子機器等は加湿器の近くに置かないでください。 水道水に含まれるミネラル分(カルシウム、マグネシウムなど)がミストと共に空気中に放出され、水分が酸化したあと、白い粉状になって室内に拡散されます。人体には無害ですが精密機器、電子機器などの故障の原因になるおそれがありますので、ホコリや汚れに弱い機器のあるところでは使用しないでください。</p>
	<p>ミスト吹出口に指を入れない。 けがの恐れがあります。</p>		
<p>ミスト吹出口をふさがない。 ミスト吹出口をふさぐと、変形や故障の原因となります。</p>			
	<p>水道水以外は使用しない。 一般的に水道水は塩素殺菌処理されており、雑菌が繁殖しにくいからです。ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水を使用すると、カビや雑菌が繁殖しやすくなったり、水アカが多くなったりして、異臭の原因になります。</p>	 <p>注意</p>	<p>凍結に注意する。 凍結のおそれがあるときは、本体の水を捨てる。</p>
<p>お湯は使用しない。 40℃以上のお湯を使用すると、変形・誤動作の原因になります。</p>	<p>本製品はテレビ、ラジオなどから2m以上はなして設置する。 雑音の原因になる場合があります。</p>		
<p>アロマオイルなど芳香剤を水タンクへ絶対入れない。 本体の破損、故障の原因になります。</p>			<p>本体を傾けない。 水タンクに水を入れたまま本体を傾けると、水がこぼれる恐れがあります。</p>
<p>本体をカーペットなどの柔らかい繊維の上に直接置いて使用しない。 使用すると、本体の吸気口がふさがり、本体の故障や水漏れの原因になります。</p>			
<p>お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。</p>			

各部の名称とはたらき

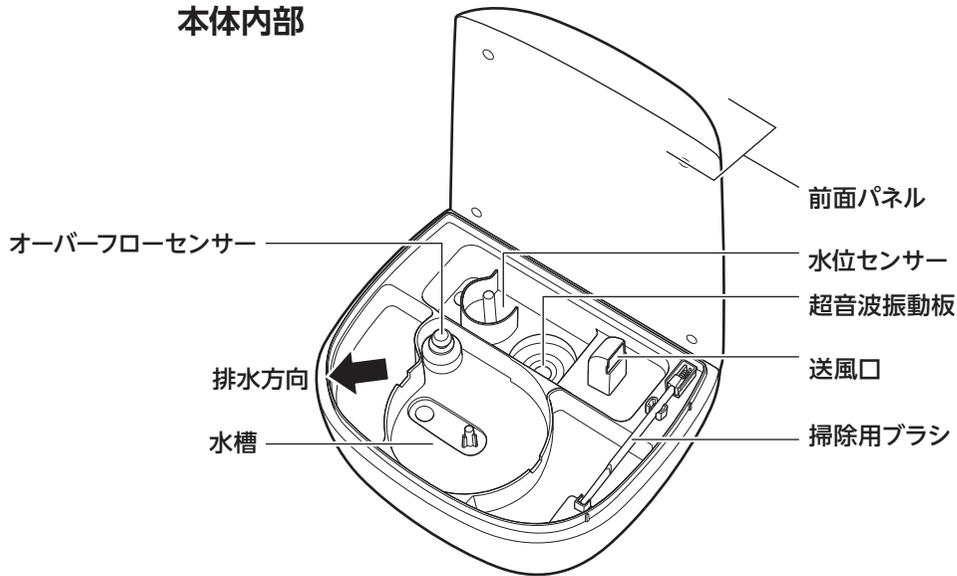
前面



注意 ミスト吹出口から水をいれないでください。

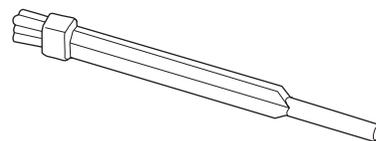
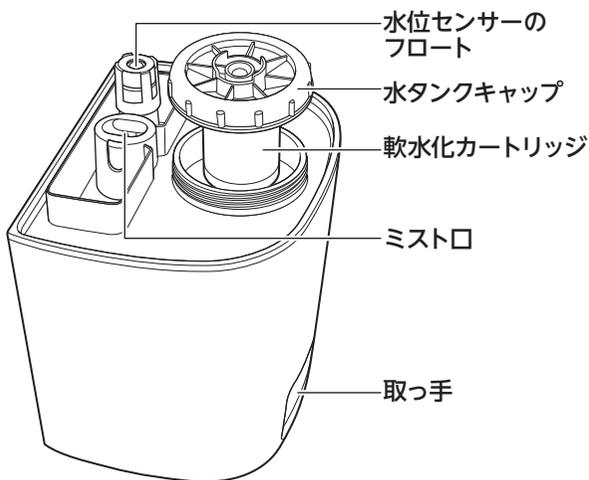


本体内部

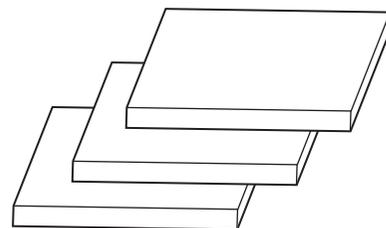


付属品

水タンク



掃除用ブラシ



交換用フェルト

⚠️ 注意

- 水タンクにある水位センサーと水槽にあるオーバーフローセンサーのフロート（ドーナツ状の白い浮き）が上下に動くことを確認する。
貼りついた状態では水位異常ランプが誤点灯することがあります。
- アロマオイルなど芳香剤を水タンクへ絶対入れない。
本体の破損、故障の原因になります。
- 本体を移動させる場合は、先に水タンクをはずし、本体の水を捨てる。
水タンク及び本体の水がこぼれるおそれがあります。
- ミストキャップを必ず取り付けて使用する。
- 本体の水を捨てるときは、排水方向の矢印の方向から捨てる。
他の方向から水を捨てる、送風口に水が入るなど故障の原因になります。

正しい使いかた

使用前の準備

1. 本体を水平な場所に設置する

安定した水平な場所に設置してください。



テレビ、ラジオなどから2m以上はなして設置する。
雑音の原因になる場合があります。

2. 給水する

- ① 本体から水タンクを取りはずします。
- ② 水タンクキャップをはずして水タンクにきれいな常温の水道水を入れてください。
- ③ 水タンクキャップを確実に締め、こぼれた水をふきとり、水漏れがないことを確認してください。

※水タンクを反転させたときにミストキャップがはずれて落ちることがあります。本体に取り付けるときに再度取り付けてください。



- 水道水以外の水は使用しない。
- 運転終了後、再度給水する場合はカバーを取りはずすときにカバー内部の水滴がこぼれますので、タオル等を準備して本体や床が濡れないようにしてください。

3. 水タンクを本体に確実に取り付ける

水タンクを本体に取り付けます。
水タンクの平面側を本体の前面パネルに添わせるようにします。

※給水によってミストキャップがはずれたときは取り付けてください。

※水タンクは加湿器を使用する場所で取り付けてください

4. 電源プラグをコンセントに差し込む

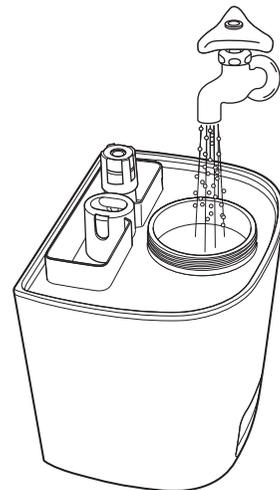
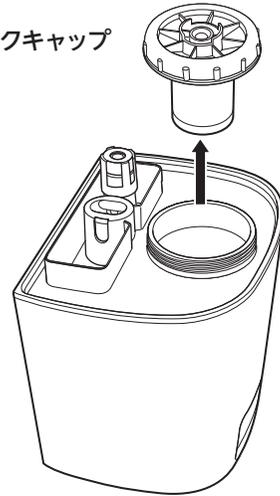
通電すると、ピーピーと音が鳴ります。

※表示部になにも表示されませんが、本機は  電源ボタンのみ受け付けるスタンバイ状態になっています。多少なりとも電力が消費されていますので、使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。



外出や本体から長時間離れるときは、電源プラグをコンセントから抜く。
消し忘れや火災の原因になります。

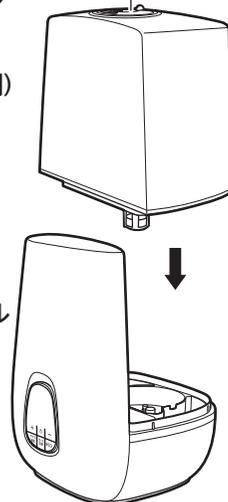
水タンクキャップ



ミストキャップ

(水タンク・平面側)

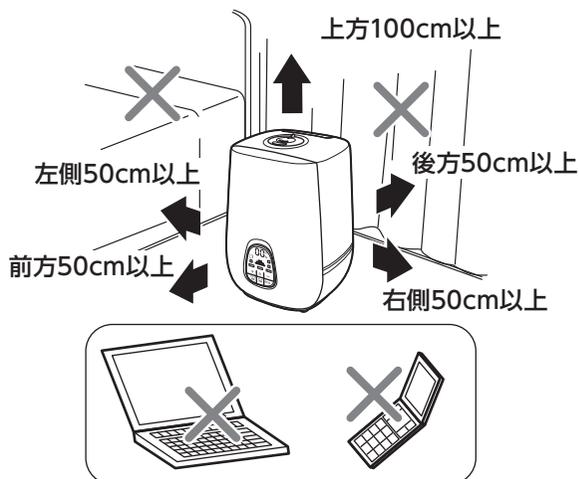
前面パネル



本製品は壁や周囲から適切な距離を保ってください。

本製品の設置は以下の点に注意してください。

- 本製品は壁、寝具、カーテン、家具などから50cm以上離して設置してください。
- ミスト吹出口を壁、寝具、カーテン、家具に向けないでください。
- じゅうたんなど毛足の長い布の上には置かないでください。吸気口がふさがり、本体の故障、周囲への水漏れの原因になります。
- 本製品を使用すると、水道水に含まれるミネラル分などが、白い粉状になって室内に拡散されます。近くに置いた家具や電子機器などに付着し、白い汚れになったり、機器の機能に悪影響を与えてしまいますので、設置場所には十分注意してください。
- 本製品の近くには携帯電話、パソコンなど湿気に弱い電子機器、精密機器は絶対に置かないでください。



⚠️ 注意

冬場に就寝する際、暖房機を止めて室内の温度が15°C以下になる場合加湿運転を継続すると結露が発生することがあります。

本体や床が濡れることがありますので、就寝時や室温が15°C以下、湿度が60%以上になる状況が予測される環境で使用される場合は、加湿量の設定を《弱》または《中》にするか、湿度設定を低く設定する、または使用を停止してください。

正しい使いかた (つづき)

通常運転 (通常モード)

運転の開始/停止

《通常の運転》

1.  電源ボタンを押して運転を開始する

 電源ボタンを押すと電源が入り、表示部に本機で計測された現在湿度が表示されます。

・表示される湿度は、0%~99%です。

メモリー機能

電源ボタンを押すと、前回の設定で運転を始めます。

・加湿量 ・運転モード ・設定湿度 ・ECO設定

※電源プラグをコンセントからはずすと、初期設定にリセットされます。

初期設定

通常モード・加湿量《微弱》・湿度設定60%・ECOなし

2.  モード切換ボタンを何度か押して「通常」を選択する

「おやすみ」「うるおい」「快適」いずれも表示しない状態が通常モードになります。

3.  ボタン  ボタンで加湿量の設定をする

表示部に表示されている  が多くなると加湿量が増えます。

 《弱》 約100ml/h

 《中》 約200ml/h

 《強》 約300ml/h

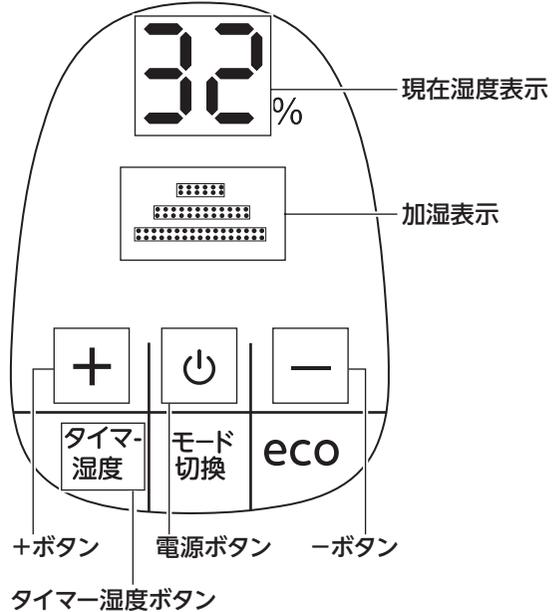
※加湿量表示は段数も増えます。

4. 自動運転の湿度設定をする

 タイマー・湿度ボタンを押して湿度を点滅表示させ、 ボタン・ ボタンで湿度を設定します。周囲の湿度が設定湿度に達すると、自動で運転を停止し、湿度が設定より10%下がると再度自動で運転を開始します。

※初期設定では60%に設定されています。

※湿度設定は30%~70%の間で5%きざみおよびCO (連続) が設定できます。



ミストキャップの回転

ミストキャップは360°回転させることができ、ミスト吹出口の方向を変えることができます。



5. 切タイマーを設定する

切タイマーを設定するには^{タイマー}タイマー湿度ボタンを押して、時間(0H)を点滅表示させ、**+**ボタン・**-**ボタンで切タイマー時間を設定します。

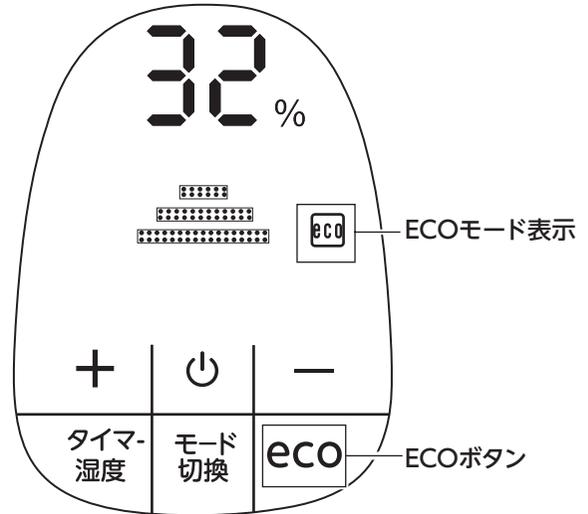
- 1H~8Hの範囲で設定できます。
- 設定すると残り時間と現在の湿度を交代で表示します。
- 切タイマー時間はいつでも、**+**ボタン・**-**ボタンで修正することができ、キャンセルするときは、同じように操作して「0H」に設定するとそのまま運転を続けます。

6. **eco**ECOボタンを押してECOモードを入/切設定する

ecoECOボタンを押してECOモードにすると、表示部に^{eco}が表示されます。

ECOモードにすると、本機のハイブリッド加湿機能のうち、ヒーターを使用しての加湿機能を切にして、超音波振動板のみの加湿にします。

- ヒーターを止めることにより、加湿量は約20%減りますが、消費電力量が約50W減ります。

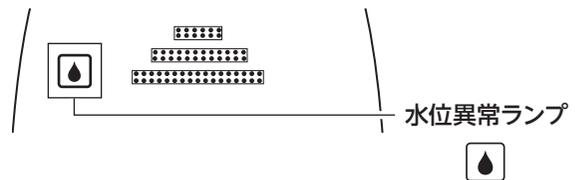


7. 水タンクから水がなくなったときは^{水位異常ランプ}水位異常ランプが点滅するので、電源を切って水タンクに水を入れる

^{水位異常ランプ}水位異常ランプで点滅状態は、水がなくなったときです。

8. ^{電源ボタン}電源ボタンを押して運転を終了する

運転を終了すると表示部は消えますが、内部のミストを排出するため約1分ファンが回り続けます。ファンなど確実に停止したのを確認してから(約2分以上おいてから)電源プラグを抜いてください。



運転中に水位異常ランプが点灯したとき

^{水位異常ランプ}水位異常ランプが点灯したときは、水タンクの水が足りなくなっていることを示しています。

1. 水タンク、水槽内の水が少なくなるとブザーが5回鳴り、^{水位異常ランプ}水位異常ランプが点滅して加湿運転を停止します。
2. 水槽に残った水を捨てたあと、新しい水道水を水タンクに入れて本体に取り付けてください。
3. 水タンクより本体に水が行きわたりますと、^{水位異常ランプ}水位異常ランプが消灯します。
^{電源ボタン}電源ボタンを押して、運転を開始してください。

※ 本体に水が入ったまま持ち運んだり、傾けたりすると、水タンクから過剰に水が供給されて水位異常になることがあります。水タンクは使用する場所で本体に取り付けてください。



警告 外出や本体から長時間離れるときは、電源プラグをコンセントから抜く。消し忘れや火災の原因になります。

正しい使いかた (つづき)

おやすみモード

1. **モード切換** ボタンを何度か押して **おやすみ** を選択する

2. **おやすみ** モードを利用する

おやすみ モードにすると、

- ・加湿量が《中》に固定されます

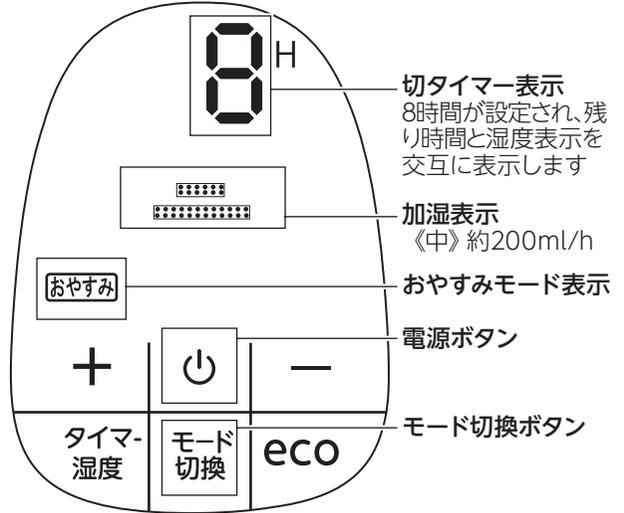


《中》 約200ml/h

- ・切タイマーが8時間に固定され、8時間後に運転を停止します。
- ・湿度設定は働かず連続加湿運転となります。

3. **おやすみ** モードをやめるには、**モード切換** ボタンを押して他のモードにするか電源を切る

モード切換 ボタンを押すと、「おやすみ」「うるおい」「快適」「(非表示) 通常」の各モードを選択できます。



切タイマー表示
8時間が設定され、残り時間と湿度表示を交互に表示します

加湿表示
《中》約200ml/h

おやすみモード表示

電源ボタン

モード切換ボタン

うるおいモード

《うるおいモード》は通常モードで設定できる加湿量《強》(約300ml/h)を超える、本機で使用できる最大加湿量(約500ml/h)を設定できます。

1. **モード切換** ボタンを何度か押して **うるおい** を選択する

2. **うるおい** モードを利用する

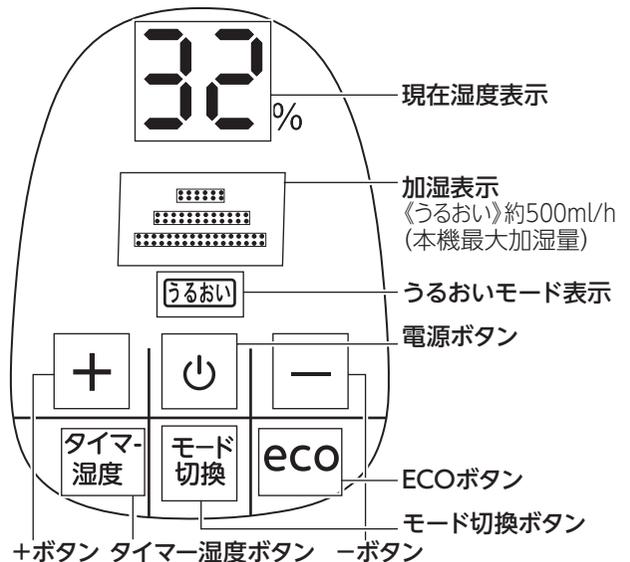
うるおい モードにすると、

- ・加湿量が《うるおい》に固定されます。



《うるおい》 約500ml/h

- ・湿度設定と切タイマー設定ができます。
- ・ECOモードの入/切が設定できます。



現在湿度表示

加湿表示
《うるおい》約500ml/h
(本機最大加湿量)

うるおいモード表示

電源ボタン

ECOボタン

モード切換ボタン

+ボタン タイマー湿度ボタン -ボタン



注意
うるおいモードでは、高く湿度を設定しない。湿度が下がったとき、結露が発生し、本体や床が濡れることがありますので、長時間使用せず、湿度設定を低く設定するか、うるおいモード以外で使用してください。

快適モード

1. **モード切換** ボタンを何度か押して **快適** を選択する

2. **快適** を利用する

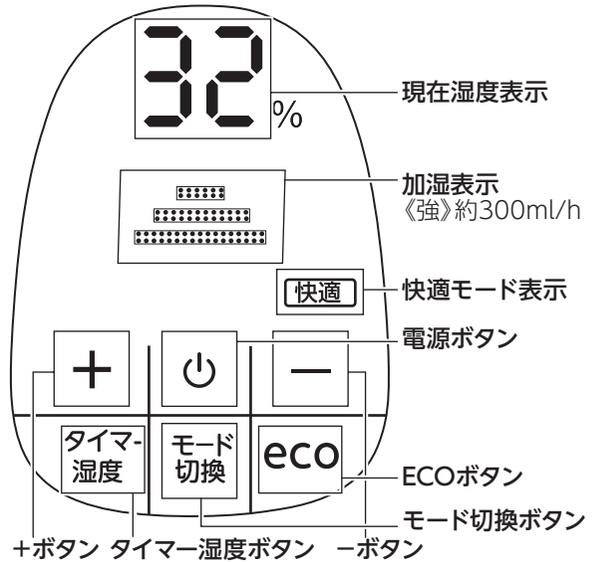
快適 モードにすると、

- ・加湿量が《強》に固定となります。



《強》 約300ml/h

- ・設定湿度は60%に固定となります。
- ・切タイマーの時間設定ができます。
- ・ECOモードの入/切が設定できます。

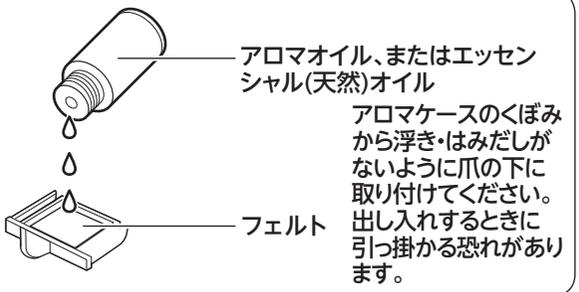
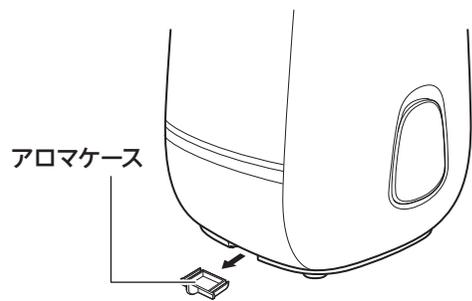


アロマケースの使いかた

1. 本体に取り付けられているアロマケースを引き出す

2. アロマケースに取り付けられているフェルトにアロマオイルを染み込ませる

アロマケースにフェルトが取り付けられていることを確認してください。市販のアロマオイルまたはエッセンシャル(天然)オイルを外側にこぼれないよう注意しながら2~3滴フェルトに染み込ませます。次にアロマケースを本体の奥までしっかりと差し込みます。



⚠️ 注意

- ・アロマオイルまたはエッセンシャル(天然)オイルをアロマケースから溢れるまで入れすぎない。
- ・アロマオイルまたはエッセンシャル(天然)オイルがアロマケースの外側に付着した場合は必ず拭き取る。
- ・アロマケースの外側にアロマオイルまたはエッセンシャル(天然)オイルが付着した状態で本体に差し込まない。
- ・本製品専用のフェルト以外で使用しない。本体の破損・故障の原因になります。



▶▶つぎのページにつづく▶▶

正しい使いかた (つづき)

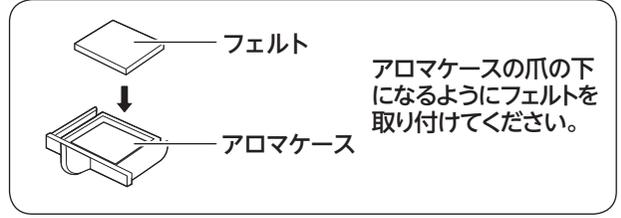
3. 運転を開始する

8ページの「運転の開始/停止」の手順に従い運転を開始してください。アロマの香りを含んだ加湿をお楽しみいただけます。

アロマオイルまたはエッセンシャル(天然)オイルを入れない場合は通常の加湿器としてご使用いただけます。

フェルトの交換

- ※ フェルトが汚れてきた場合や違う種類のアロマオイルまたはエッセンシャル(天然)オイルを使用する場合は、フェルトを交換してください。
- ※ フェルトはアロマケースにご購入時に取り付けられているもの以外に3枚付属品として付属しています。
- ※ フェルトは洗って再使用することができません。
- ※ フェルトはアロマケースの爪の下になるように取り付けてください。
- ※ アロマケースは食器用中性洗剤などで洗い、水気をよく拭き取ってから、手順2に従って取り付けてください。



アロマオイル・エッセンシャル(天然)オイルなどについて

- 炎に近づけないでください。
- 子供の手の届かない場所に保存してください。
- 衣服などに付着した場合は、大量の水で洗い流したあと、自然乾燥させてください。乾燥機は使用しないでください。発火する恐れがあります。
- 手に付着したときは、直ちに手を洗ってください。
- 取り扱いについては、アロマオイル・エッセンシャル(天然)オイルに付属の取扱説明書をご覧ください。

交換用のフェルトAF-KHR501は別売しております。
4枚セット500円(税別)
お買い上げの販売店またはドウシヤお客様相談室
(➡裏表紙)へお問い合わせください。

お手入れと保存



- 水タンクを取り出したあと、本体内部の金属部に触れない。(けが・故障の原因)
- 必ず運転を止め、電源プラグをコンセントから抜いて、本体内部が冷えるのを待ってから(10分位)お手入れを行なう。(感電・やけど・けがの原因)
- 清掃後は、必ず各部品を元通りに取り付ける。(やけど・けが・故障の原因)

本体のお手入れ(週に2回以上)

本体に残っている水をきれいに捨ててください。水を捨てるときは、必ず本体に表示されている排水方向矢印から捨ててください。排水方向以外から水を捨てると、送風口に水が入るなど故障の原因となります。

※ 水を捨て、水滴をふきとり、よく乾燥させてください。

通常のお手入れ

- 本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤(柑橘系を除く)に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。(樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。)
- アロマケースの吸気口のココリを掃除機などで清掃してください。



お手入れ時の注意

ここに水を掛けないこと!!

中に水が入ると、ミストを吹き上げるファンモーターが壊れてしまいます。

送風口



加湿運転時には中にあるファンモーターが回り送風口から風が出て、発生したミストを上へ吹き上げます。お手入れ時に水を入れないよう十分に注意してください。

- ・掃除用ブラシを使用し汚れを落としてください。超音波振動板もやさしく清掃してください。
- ・掃除用ブラシはきれいに洗った上で元通りの場所に取り付けておきます。



水タンクのお手入れ (週に2回以上)

水タンク内に水を入れ、水タンクキャップを締めて水タンクをよく振り、排水してください。(これを2~3回繰り返します。)

※ 水タンクは必ず水で洗う。

お湯で洗うと変形の恐れがあります。また洗剤等で洗うと故障の原因となりますので、洗剤等は使わないでください。

⚠注意

- ・ベンジン・シンナーではふかない。(変色や変形の原因)
- ・オレンジ・ライムなど柑橘系成分の入った食器用洗剤を使用しない。
変色、変形させる原因になります。
- ・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従って使用する。(変色・キズの原因)
- ・水タンクおよび水槽の水は毎日新しい水道水と入れ替える。本体内部は常に清潔を保つよう定期的にお手入れする。
お手入れせずにお使いになると、汚れや水アカにより、カビや雑菌が繁殖し、異臭の原因になります。まれに体質によっては、過敏に反応し健康を害することがあります。この場合は、医師に相談してください。
- ・水道水以外は使わない。
一般的に水道水は塩素殺菌処理されており、雑菌が繁殖しにくいからです。ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水は水アカが多くなったり、カビや雑菌が繁殖しやすくなります。必ず、きれいな水道水をご使用ください。
- ・ジュースなどの飲料水、温水(40℃以上)、化学薬品、芳香剤(アロマオイルなど)、洗剤を入れた水などは絶対に使用しない。
水タンクや本体が故障する原因となります。

水タンクにカビや雑菌の繁殖が疑われる場合、下記方法にて清掃をお願いします

清掃方法

※ 流し台など水がこぼれても問題のないところで作業を行なってください。

- ① 水タンクへ水を300~500ml程度入れてください。
- ② 水タンクへ適量の台所用塩素系漂白剤を入れてください。
- ③ 水タンクキャップをしっかり閉めてください。
- ④ 水と漂白剤を攪拌するため、水タンクを5~10回程度振ってください。
- ⑤ 水タンクのキャップ部分が下になるよう置き、30分~1時間程度放置してください。水タンクキャップが床面と接触しないよう気を付けてください。止水弁が押されると水漏れします。

⚠注意

製品本体には取り付けないでください。

- ⑥ 水タンク内部の水を捨て、新しい水で何度か水タンクをよくすすいでください。
※ 汚れのひどいときは2回ほど繰り返してください。
- ※ 台所用塩素系漂白剤に記載の取り扱い上の注意をご確認ください。

お手入れと保存 (つづき)

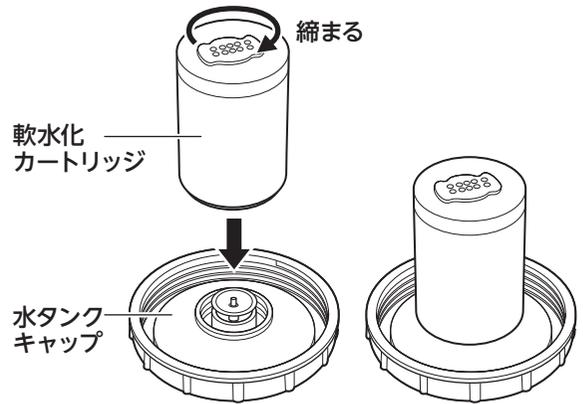
軟水化カートリッジについて

水タンクキャップ裏に装着されている軟水化カートリッジは、水の中に含まれるカルキ成分を中和して、水槽内の付着やミストに交じって周囲に飛び散るのを軽減します。

※ 軟水化カートリッジの作用は上記を軽減するものであり、カルキの水槽内付着や飛散をまったくなくすものではありません。

※ 軟水化カートリッジの効果には寿命があります。1シーズン(約半年間)を目安に交換してください。

交換用の軟水化カートリッジWSBX-KHR501は別売しております。1500円(税別)
お買い上げの販売店またはドウシヤお客様相談室(➡裏表紙)へお問い合わせください。



※ 使い初めに小さな粒がタンク内に出る場合があります。お手入れの際に捨ててください。

お手入れお知らせ機能

本機は週2回以上のお手入れをおすすめしています。本機にはお手入れを忘れて長時間使用したときにランプが点滅してお知らせする、お手入れお知らせ機能を搭載しています。

加湿時間をカウントして、100時間に達すると「CLEAN」クリーニングランプが点滅しますので、12~13ページの手順に従ってお手入れをしてください。

お手入れ後は、以下の手順でお手入れお知らせ機能をリセットしてください。

お手入れお知らせ機能リセット方法

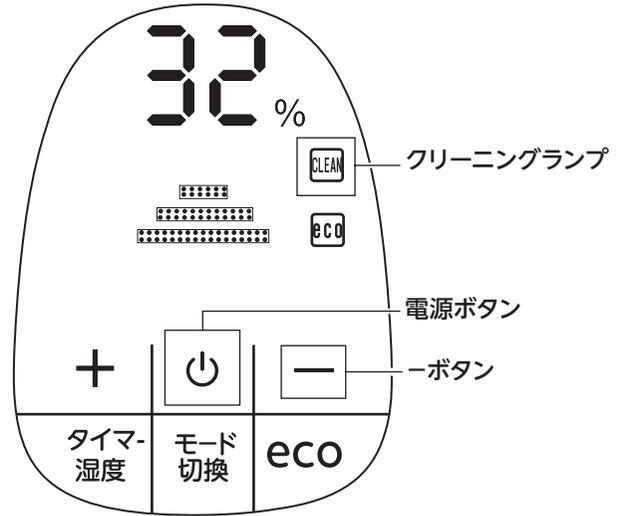
☑電源ボタンを押して運転を開始した状態で☐ボタンを5秒間長押ししてください。

「CLEAN」クリーニングランプが約2秒間点灯後、「ピッ」と音がして消灯したらリセット完了です。

新たに加湿運転時間のカウントを開始します。

※ 「CLEAN」クリーニングランプが点滅しても、通常通り加湿運転は問題なく使用することができます。

※ 「CLEAN」クリーニングランプが点滅する前にお手入れしたときも、お手入れお知らせ機能をリセットしてください。



保存のしかた

「本体のお手入れ」「水タンクのお手入れ」に従ってお手入れ・清掃したあと、本体内部の水分をよくふき取り、陰干しして十分に乾燥させてください。ポリ袋などに入れ、取扱説明書とともにお買い上げ時の箱に入れ、湿気の少ないところに保存してください。

修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない	・電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをしっかりと差し込む
加湿しない、または加湿量が少ない	・水位異常ランプが点滅している ・超音波振動板（セラミックディスク）が交換時期になっている ※超音波振動板（セラミックディスク）の耐久時間は約3000時間です。	・水タンクに水がない場合は給水する ・水槽の水が多すぎる場合は、水槽内の水を捨て、使用する場所で水が入った水タンクを取り付ける 耐久時間を超えるとミストの発生量が少なくなったり、発生しなくなります。超音波振動板（セラミックディスク）の交換が必要ですので、ドウシシャお客様相談室へご相談ください（交換は有償となります）
給水しても水位異常ランプが点滅する	・水タンクが本体に確実に取り付けられていない ・水位センサーおよびオーバーフローセンサーのフロート（ドーナツ状の白い浮き）が汚れなどで貼り付いている ・水が本体に行きわたっていない（水タンクを本体に取り付けてから時間がたっていない）	水タンクを確実に取り付ける フロートが動くようにお手入れする 水タンクを取り付けてから約2分ほど待つと、水が行きわたり、水位異常ランプが消灯します
においがでる	・水道水以外を使用している	水タンク、水槽に残っている水を捨て、「お手入れと保存」に従って掃除する
水タンクにヒビがある	・水タンクにアロマを入れている	水タンクにアロマを入れると水タンクにヒビが発生します。水タンクを交換してください（別途購入）

長年ご使用の加湿器はよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

株式会社 **ドウシシャ** www.doshisha.co.jp

(東京本社第一ビル) 〒140-0011 東京都品川区東大井1-8-10 (大阪本社) 〒542-8525 大阪市中央区東心斎橋1-5-5

故障・修理についての
ご相談に関しては…

【受付時間】 9:00~17:00 (祝日以外の月~金曜日)

ドウシシャお客様相談室

☎0120-104-481

ドウシシャ福井第2家電サービスセンター 〒915-0801 福井県越前市家久町41-1

※ 商品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願いいたします。

※ お電話をいただいたときにお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。